

# 第23回 春日井市交響楽団 定期演奏会

2014年7月6日(日)  
春日井市民会館

主 催：春日井市交響楽団

後 援：春日井市、春日井市教育委員会、(公財)かすがい市民文化財団、中日新聞社

# ごあいさつ



春日井市交響楽団  
名誉会長  
春日井市長  
**伊 藤 太**

## お祝いのことば

夏木立の緑濃く、木漏れ日も輝く季節に、第23回春日井市交響楽団定期演奏会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

春日井市初のアマチュア・オーケストラとして平成2年に誕生以来、本市の音楽文化の振興に寄与すべく研鑽を重ね、恒例となりました本演奏会も、今回で23回目を迎えることとなりました。

毎回優れた演奏家を招聘し、市民の皆様にクラシック音楽に親しんでいただく場として親しまれることは、本市の音楽文化の裾野を広げる場として、大変意義深いものであります。

今回は、オペラ・ミュージカルをはじめ様々な分野で活躍されている井村誠貴氏の指揮にのせて、国内外でご活躍中の坂口裕子氏、松本薰平氏、両氏の澄んだ歌声が観客の皆様を魅了し、素晴らしい演奏会になるものと大いに期待しております。

最後に、演奏会の成功とご出演の皆様をはじめ関係各位のより一層のご活躍を心から祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



春日井市交響楽団  
会長  
中部大学 学長  
**山 下 興 亜**

## ごあいさつ

本日は、第23回春日井市交響楽団定期演奏会へご来場いただき、誠にありがとうございます。

聴衆の皆様に支えていただき、23回目となる定期演奏会を開催できることに心より感謝申し上げます。

今回は、2012年より春日井市民第九演奏会で客演いただいている井村誠貴先生にご指導をお願いしました。繊細かつエネルギーッシュな指揮で、先生自身の代名詞である「オペラ」と、躍動感あふれる交響曲を作り上げてきました。ソリストには、愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業後、華々しい活躍を続けるソプラノ歌手坂口裕子さんと、多数のオペラ出演やソリストとして全国から注目を集めている、日本では数少ない実力派テノール歌手の松本薰平さんをお迎えし、華やかなプッチーニの名曲を選りすぐってお届けします。

日頃から多大なるご支援をいただきしております贊助会員の皆様を始め、ご来場のみなさまへ感謝の気持ちを込めて演奏いたします。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

# プログラム

## Program

プッチーニ (1813~1883)  
Giacomo Puccini

交響的前奏曲 イ長調 Preludio sinfonico in La maggiore

私のお父さん O mio babbino caro (ソプラノ) / 「ジャンニ・スキッキ」より  
星は光りぬ E lucevan le stelle (テノール) / 「トスカ」より  
歌に生き 恋に生き Vissi d'arte, vissi d'amore (ソプラノ) / 「トスカ」より  
誰も寝てはならぬ Nessun dorma (テノール) / 「トゥーランドット」より

間奏曲 Intermezzo / 「マノン・レスコー」より

ある晴れた日に Un bel dì, vedremo (ソプラノ) / 「蝶々夫人」より  
冷たい手よ Che gelida manina (テノール) / 「ラ・ボエーム」より  
おお麗しの乙女よ O soave fanciulla (ソプラノ&テノール) / 「ラ・ボエーム」より

## 《休 憩》 *Intermission*

ドヴォルザーク (1841~1904)  
Antonín Leopold Dvořák

## 交響曲 第7番 二短調 作品70

Sinfonia VII Re Minore

第1楽章 Allegro maestoso  
第2楽章 Poco adagio  
第3楽章 Scherzo : Vivace - Poco meno mosso  
第4楽章 Finale : Allegro

指揮 井村誠貴  
ソプラノ 坂口裕子  
テノール 松本薰平  
演奏 春日井市交響楽団

## 団長あいさつ 稲垣 徹

皆さん、こんにちは。本日も沢山のお客様にご来場いただき誠にありがとうございます。春日井市交響楽団の定期演奏会も今回で23回目を迎えることとなりました。これもひとえに演奏会に足を運んでいただけた皆様方のおかげと深く感謝申し上げます。

今回のプログラムではプッチーニのオペラ曲を取り上げ、新しいレパートリーにも挑戦し、さらにはドヴォルザークの交響曲の中でも難曲とされる第7番を取り組みます。団員一同、心をひとつにして練習の成果をお聴きいただきたいと思います。

なお、当団の会長でありました三浦昌夫氏(中部大学前学監)が1月に急逝されました。

永年にわたるご支援への感謝と、深い哀悼の意を込めて、アンコールでドヴォルザークの「スラブ舞曲」を演奏します。団員一同心を込めて演奏しますので、どうぞ最後までごゆっくりお聴きください。

## プロフィール

### 指揮 井村 誠貴

Masaki Imura



オペラ・ミュージカル指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科を卒業。在学中よりオペラ指揮者として研鑽を積み、これまでにオペラレパートリーも50演目を越える。2001年には、年間オペラ公演回数が日本人第4位に入るなど、その地位を確立している。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団、エウフォニカ管弦楽団を中心に芸術鑑賞会を全国展開。名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団等を客演。また、岐阜県交響楽団、堺フィルハーモニー交響楽団、京都府立医科大学交響楽団、神戸大学交響楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらに、大阪市音楽団、ナゴヤ・デileクターズ・バンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュ・オ・フォール」を皮切りに、「マイ・フェアレディ」「レ・ミゼラブル」(いずれも東宝)「ペテン師と詐欺師」「The Musical AIDA」「キャバレー」のロングラン公演全国ツアーを成功させ、ライブCD、DVDを発売。また、岩崎宏美、今陽子、ダ・カーポら実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでは軽妙なトークも話題となっている。2010年には京都フィル、湖笛の会(フルート・オーケストラ)と共に韓国光州国際音楽祭に招待され、世界的フルート奏者フリップ・ピエルロ氏らと共に演。クラシックにとらわれない幅広いジャンル、年間200公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。

指揮を湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。

現在オーケストラMFI指揮者。関西音楽人のちから「集」代表。2012年より春日井市民第九演奏会音楽監督。

本年も11月23日の2014春日井市民第九演奏会でタクトを振るう。

### ソプラノ 坂口 裕子

Yuko Sakaguchi



愛知県立芸術大学卒業、卒業時に桑原賞受賞。京都市立芸術大学大学院修了、修了時に大学院賞受賞。文化庁新進芸術家海外留学制度在外研修員としてミラノに留学。G.ヴェルディ国立音楽院を最優秀でディプロマを取得。イタリア・リッソーネ市音楽コンクール満場一致で優勝等の受賞歴がある。スイス/TicinoMusica/オペラスタジオにて、オペラ「ブルスキーノ氏」ソフィア役を務め好評を得た。イタリア・ベルガモ市などで「椿姫」「愛の妙薬」「リゴレット」等の主役をつとめる。帰国後もオペラ出演のため、度々イタリアに渡っている。みつなかオペラ「ランメルモールのルチア」ルチア役、「カブレーテ化モンテッキ」ジュリエッタ役に出演し好評を得た。今年9月には「清教徒」エルヴィーラ役が決まっている。

Javatel Sound Operationsより支援を受け活動している。

### テノール 松本 薫平

Kunpei Matsumoto



東京藝術大学音楽学部卒業。大学卒業後イタリアに渡り、F.コッソット、I.ヴィンコ、E.マルテッリ、D.マツオーラの各氏に師事。1999年関西二期会35周年記念オペラ「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビュー。その他に「カルメン」ドン・ホセ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドウ、「ランメルモールのルチア」エドガルド、「椿姫」アルフレード、「リゴレット」マントヴァ公爵、「外套」ルイージ、「トロヴァトーレ」マンリーコ、「ドン・カルロ」ドン・カルロ、「オテロ」オテロ、「道化師」カニオ、「トゥーランドット」カラフ、「ばらの騎士」テノール歌手、「こうもり」アルフレード、「コジ・ファン・ツウッテ」フェランド、「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オーターヴィオ、「魔笛」ターミー、「沈黙」モキチなどに出演。

ベートーヴェン「交響曲第9番」、ヴェルディ「レクイエム」、プッチーニ「グローリア・ミサ」、マーラー「交響曲第8番」、オルフ「カルミナ・ブランナ」などのソリストとしても活躍。

第27回イタリア声楽コンクール特賞、第12回摂津音楽祭金賞及び大阪府知事賞、第17回飯塚新人音楽コンクール第3位、第8回ABC新人コンサート・オーディション最優秀賞、第2回松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、第13回宝塚ベガ音楽コンクール第3位、第74回日本音楽コンクール入選など多数入選入賞。平成13年度兵庫県芸術奨励賞受賞。平成16年度神戸市文化奨励賞受賞。平成20年度咲くやこの花賞受賞。平成22年度神戸キワニス文化賞受賞。現在、神戸女学院大学准教授。京都市立芸術大学、神戸山手女子高等学校各講師。関西二期会会員。2012春日井市民第九演奏会にソリストとして出演。

### 客演コンサートマスター 平光 真彌

Shinya Hiramitsu



愛知県立芸術大学音楽学部卒業。同大学大学院音楽研究科修了。中村桃子賞受賞。ヴァイオリンを青山泰宏、大久保ナオミ、福本泰之、E.ダネル、岡山芳子の各氏に師事。指揮を紙谷一衛氏に師事。

第11回日本クラシック音楽コンクール弦楽器部門全国大会第3位。第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。併せて、聴衆賞、オーナー賞を獲得。2007年、2010年及び2012年、小淵沢室内楽セミナーにて最優秀カルテットとして「緑の風 音楽賞」受賞。2012年には講師特別賞を同時受賞。弦楽四重奏において松尾音楽助成金受賞。

ソリストとして、ブルガリア国立ソフィアフィルハーモニックオーケストラ、プラハ放送交響楽団、チェルニイゴフ交響楽団等と共に演。岐阜管弦楽団、愛知室内オーケストラコンサートマスター。愛知県立芸術大学及び名古屋芸術大学非常勤講師。

### 演奏 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は1990年(平成2年)に創設され、市民の音楽愛好家を中心、「市民が演奏し、市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」としての活動を続けています。

団員は、会社員・公務員・医師・教員・主婦・学生・自営業者などからなる約50名で、月に3回ほど、日曜日に、西尾町にある「ハーモニー春日井」のホールで練習しています。このホールは大変響きが良く、冷暖房も完備という素晴らしい環境で、市内はもとより市外から多くの団員が楽器を背負って集まっています。プロの指揮者やトレーナーの先生のご指導を受け、時には楽しく時には厳しく練習に取り組んでいます。

これからも、さらに市民のみなさまに親しまれ、愛される楽団として、市民音楽活動を続けて参ります。温かいご支援をお願い致します。